

オンラインセミナー「ライフスタイル革命の始動」を開催

<真に豊かなライフスタイルとは？その価値をどう創り、実現するのか？>

総務省東海総合通信局(局長 長塩 義樹(ながしお よしき))は、令和3年10月27日、ナゴヤイノベーションズガレージ(名古屋市中区)、東海情報通信懇談会との共催により、オンラインセミナー「ライフスタイル革命の始動」を開催しました。当日は会場からライブ配信を行い、会場参加者が20名、オンラインでは約650人の方に視聴いただきました。

セミナーでは、名古屋大学未来社会創造機構 教授 TMI卓越大学院 コーディネータ 河口 信夫氏から、「超学際移動イノベーションと需給交換基盤Synerexで 創造する超スマート社会」と題してご講演いただき、最初にTMI卓越大学院における超学際移動イノベーションの教育・研究活動について紹介がありました。

ライフスタイル革命とは、高齢者、障害者、子育て世代、外国人の課題などを、超学際移動イノベーション(パーソナルモビリティ、自動運転、自動荷物配送、適切な情報提示など)による革命により移動格差を解消し、すべての人が生き生きと活躍できる社会にすることであり、その実現のためには、社会や国のシステムを変革する必要があることから、自動運転、ドローン配送、多彩なロボットなどの技術的な知識だけではなく、人文・社会科学の知見が必須になるため、移動イノベーションとは異なる分野と協同して実装する人材を育成することが必要である、と説明されました。

また、将来のエリア内通信の決め手として期待されるローカル5Gをいち早く導入し、学生と共に様々な実験を行える環境を構築して現場で体験してもらっていることや、自律移動ロボットのテストベッド「Robot NEST」によるデリバリーロボットや教育・実験用ロボットキットの事例が紹介されました。

続いて、社会活動プラットフォームとしての需給交換基盤「Synerex」について紹介がありました。

「Synerex」とは、「需給交換」を行うプラットフォームのことであり、サービスを受けたい個人や団体と、サービスを提供したい企業や個人のマッチングを可能にする場所で、講演では生物学者になりたい子供と動物の生態に詳しい大学院生をマッチングして、オンラインで「生き物講座」を受講するなどの活用事例が紹介されました。

最後に、TMI卓越大学院では「移動イノベーション」を実装できる人材を養成中であり、その仕組みとしてSynerexを開発中であると、まとめていただきました。

東海総合通信局では、引き続き東海情報通信懇談会と協力して産学官の連携・交流を積極的に行ってまいります。



名古屋大学未来社会創造機構 教授
TMI卓越大学院 コーディネータ
河口 信夫氏